



チームI
馬渡 光春
議員

▼市の人口減少抑制対策 について

Q 本市の人口の推移と現状はどうか。

A 平成二十二年と平成二年の国勢調査では、二十二年が四万七千四百五十五人、二年が五万六千九百三人であり、比較すると九千四百四十八人の減少である。

Q 人口減少により、行政に影響が出てく
ると思うがどうか。

A 税の増収が見込めず、一方では高齢化の進展により、社会保障関係の支出の増加が見込まれ、財政状況はさらに厳しさを増すものと考えている。また人口減少は、町内会・自治会活動をはじめ、地域の活力や地域経済の減退を招くものであり、さまざまな問題が考えられる。

Q 人口減少対策の成果と評価はどうか。

A 直接的にはすこやか子育て支援事業など、間接的には農地の基盤整備事業、地場企業の支援やジオパーク等を活用した観光活性化等を実施し、少子化対策に取り組ん

できたが、人口減少の抑制に一定の寄与は見られるが、歯止めがかかっていないため、さらなる対応が必要だと考えている。

Q 今後の本市の人口の見込みと減少抑制への取り組みはどう考えているのか。

A 十五年後の二十五年には、三万七千人台となる見込みである。人口減少に歯止めをかけるため、企業誘致の積極的な推進、地場企業の拡大、農業者への支援、さらには赤ちゃんオムツ支援事業等に取り組み、少子化対策の充実を図りたい。

▼地域高規格道路「島原 道路」について

Q 島原中央道路の開通の効果はどうか。

A 市内中心部の渋滞緩和は図られたが、広域農道の交通量が急増している。

Q ①広域農道の安全対策、②児童生徒への安全指導はどうしているのか。

A ①信号機の設置や歩道の整備、防犯灯の設置など総合的な協議を行った。②徒歩の場合の列歩行、横断歩道を渡る、自転車のヘルメット着用など、今まで以上に交通安全指導の徹底に努めている。

【その他の質問項目】

◇橋梁（橋）の安全対策について



青 籍
松坂 昌應
議員

▼市民目線に立った情報 公開

Q 市民目線に立った行政改革とは。

A 大切な税金を一円たりとも無駄にしないという姿勢で市民の視点で市役所を捉え、その上で新庁舎建設や組織の見直しを初め、各種事業の評価、検証を行い、効率的な行政運営に取り組みたいと考えている。

Q 市民にわかりやすい組織機構とは。

A グループ制のあり方を初め、現行の組織体制について、名称を含めわかりやすく、親しみやすい形へと見直しを行いたい。

Q 情報公開で心がける点はなにか。

A 本市の課題を市民の皆様と共有するた
めにも、市政に関する情報を市民の方々に積極的に提供するように努めていくことが必要だと考えている。

Q 庁舎建設の経過はどのように公開する
のか。

A 市庁舎整備懇話会や市庁舎建設特別委

員会の概要は市のホームページ上で公開され入手することが可能である。こういった意見をもとに島原市庁舎建設基本構想案を作成し、パブリックコメントや市長を囲む懇談会で概要の説明を行った。その際に出された意見や要望については、島原市庁舎建設基本構想にどのように反映されたかを明らかにし、ホームページや広報しまばらなどで順次公開するよう準備を進めている。

Q 岩手県滝沢村（柳村純一村長）の事例に何を学ぶか。

A 縦割り行政の壁を超えて職員が生き生きとした働きやすい環境をつくることや情報公開を参考にし、本市の課題を市民の皆様と共有しながら取り組みたい。

▼入札に「公開（事後） ランダム」を導入すべき

Q 公開ランダムを導入すべきではないのか。

A 建設工事等の入札会場で、パソコンを用いた公開ランダムによる予定価格及び最低制限価格の決定方法については、他市の例等も調査しながら、現在、実施に向けて研究を始めたところである。

【その他の質問項目】

◇諫早湾干拓開門調査に向けて